

No.111
県議会
とちぎ

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20
 TEL 028-623-3772
 FAX 028-623-3755
 E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp
 HPアドレス http://www.pref.tochigi.lg.jp/p01/kengikai

第322回通常会議(平成26年2月~3月)

総額7,732億9,000万円の平成26年度一般会計当初予算、大雪被害に対応した88億9,635万円の一般会計補正予算等を可決

第322回通常会議(2月20日から3月25日まで)では、本会議における質疑・質問や予算特別委員会総括質疑などが行われ、知事や議員から提出された75議案が原案どおり可決されました。請願・陳情につい

ては、2件が採択、1件が不採択、1件が取下げ承認、4件が継続審査となりました。

また、3月25日には正副議長選挙が行われ、議長に螺良昭人議員、副議長に花塚隆志議員が選出されました。

可決された主な議案

- 平成26年度栃木県一般会計予算
- 平成25年度栃木県一般会計補正予算(第5号)
- 平成26年度栃木県一般会計補正予算(第1号)
- 平成25年度栃木県一般会計補正予算(第6号)
- 災害に強いとちぎづくり条例の制定について
- 栃木県森林審議会条例の制定について
- 栃木県麻薬中毒審査会条例の制定について
- 栃木県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部改正について

採択された陳情

- ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情
- 狂犬病予防対策の強化に関する陳情

可決された意見書

- 環太平洋パートナーシップ協定(TPP)交渉に関する意見書
- ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者への対策を求める意見書
- 狂犬病予防対策の強化に関する意見書



2月20日に行われた議事堂ホールコンサートの様子

◎ 代表・一般質問者及び質問項目 ◎



神谷 幸伸 (とちぎ自民党) ※

- 1 平成26年度当初予算及び平成25年度補正予算
- 2 県政推進体制の強化
- 3 とちぎブランドの推進
- 4 国体開催に向けての対応
 - (1)競技会場 (2)選手育成強化と指導者養成
- 5 日光いろは坂女子駅伝
- 6 子ども・子育て支援新制度
- 7 降雪による被害への対応
- 8 新たな農業・農村政策への対応
- 9 公共事業の推進
 - (1)災害に強い県土づくり (2)公共事業の円滑な執行



増淵 三津男 (みんな) ※

- 1 歴史的大雪による農業被害等への対応
- 2 とちぎへの郷土愛の醸成による発信力強化
- 3 財政運営と歳入確保の見直し
- 4 災害に強いとちぎづくり条例の制定に伴う取組
- 5 エネルギー戦略の策定等
- 6 地域医療支援センターの設置による医師の偏在解消
- 7 外国人旅行者の誘客促進
- 8 ジェトロ貿易情報センターの誘致による県産品の販路拡大等
- 9 農業改革に伴う生産調整の見直しへの対応
- 10 高等特別支援学校の整備



佐藤 栄 (民主・無所属) ※

- 1 地方財政計画への対応
 - (1)地方税制改正 (2)公共施設の計画的な管理
- 2 降雪被害への対応
- 3 国民健康保険制度改革への対応
- 4 交通施策の推進
- 5 中小企業の事業継続計画(BCP)普及に向けた取組
- 6 全国障害者スポーツ大会本県開催に向けた取組
- 7 水力発電開発の取組
- 8 特殊詐欺への対応強化



山口 恒夫 (公明党) ※

- 1 大雪被害への対応
- 2 知事の政治姿勢
 - (1)復興から力強い成長 (2)とちぎ力の発信と郷土愛醸成
- 3 地域包括ケアシステム
- 4 健康長寿とちぎづくり
- 5 スポーツの振興
 - (1)冬季国体開催及び国体選手等の育成 (2)キャンプ地誘致を見据えた総合スポーツゾーンの整備
- 6 観光客に対する「おもてなし」
- 7 特殊詐欺への対応



平池 秀光 (とちぎ自民党)

- 1 県税収入の確保
- 2 地域包括ケアシステムの構築
- 3 観光誘客の推進
- 4 企業誘致
- 5 新4号国道の機能強化
- 6 心の教育



早川 けいこ (みんな)

- 1 女性の活躍
 - (1)女性の活躍の促進 (2)女性活躍推進会議の設置
- 2 鳥獣被害防止対策の取組
- 3 子ども・子育て支援
 - (1)病児・病後児保育の充実 (2)児童家庭支援センターの設置促進
- 4 観光立県とちぎの魅力発信
- 5 スカイベリーブランドの確立
- 6 特別支援教育の充実



保母 欽一郎 (県民第一)

- 1 雪害による農業被害への対策
- 2 県道桐生岩舟線の岩舟町役場前の道路拡幅
- 3 県道静藤岡線と広域農道の相互移管
- 4 栃木の教育問題
 - (1)生活貧困家庭の教育問題 (2)私立幼稚園及び私立保育所の耐震化 (3)県立高校の老朽施設の整備 (4)今後の「中高一貫教育」の取組
- 5 知事の県政経営



若林 和雄 (とちぎ自民党)

- 1 地方分権改革
- 2 海外を見据えた産業政策
- 3 起業家支援
- 4 とちぎの農業の再建と成長
 - (1)農家の再建支援 (2)だれが農業を担うのか
- 5 土地利用・居住地規制の緩和
- 6 県立高校のあり方



関谷 暢之 (とちぎ自民党)

- 1 観光立県とちぎ実現に向けた戦略
- 2 ねりんピック栃木2014の開催
- 3 第77回国民体育大会開催に向けた準備
- 4 食肉流通合理化計画と本県畜産の振興
- 5 主要地方道西那須野那須線の整備
- 6 耐震改修促進法改正に伴う対応
- 7 とちぎの子どもの学力向上対策



神林 秀治 (無所属)

- 1 男女共同参画社会の推進
 - (1)とちぎ男女共同参画プラン
- 2 栃木県版ウーマノミクス
- 2 地域包括ケアシステムの実現
- 3 障害者福祉の充実
- 4 健康長寿日本一とちぎの実現
- 5 力強い農業に向けて(園芸の振興)
- 6 一般国道408号宇都宮高根沢バイパスの整備
- 7 いじめ問題の解決



板橋 一好 (とちぎ自民党)

- 1 国民体育大会への対応
 - (1)知事の決意 (2)職員採用 (3)体育協会の在り方 (4)宇都宮一極集中への対応
- 2 県庁組織の改善及び機能強化
 - (1)副知事2人制への対応 (2)行政機構調査検討会等の提言との関係 (3)新たな産業団地の造成(企業局の電気事業)
- (4)環境保全公社と産廃行政の推進
- (5)海外交流
- 3 建設事業の推進
 - (1)指名競争入札制度の見直し (2)品質向上
- 4 県南地域関連の諸問題(結城市との関係)

インターネットでご覧になれます

- ◎ 質疑、質問の映像
- ◎ 本会議、委員会の会議録
- ◎ 議決結果
- ◎ 各会派の採決態度
- ◎ 常任委員会報告書
- ◎ 議会の日程 など



栃木県議会

検索

注()は所属会派 (とちぎ自民党)とちぎ自民党議員会、(みんな)みんなのクラブ、(民主・無所属)民主・無所属クラブ、(公明党)公明党栃木県議会議員会、(県民第一)県民第一の会、(無所属)無所属の会 ※は代表質問

常任委員会の活動状況 ～特定テーマ決定～

各常任委員会は、議案等の調査や審査に加え、所管する事項の中から今日的な課題を特定テーマとして取り上げ、調査研究を行います。
平成26年度は、特定テーマを以下のとおりとし、本年中に執行部に対

する提言を盛り込んだ調査研究結果を取りまとめる予定です。
なお、平成25年度以前の特定テーマ調査報告書は、県議会ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



県政経営委員会 (9名)

○「県民が利用しやすく効率的な電子県庁の在り方」

本県では、以前から電子県庁の取組を実施していますが、県民が電子県庁による利便性を実感できるサービスは一部にとどまっています。

一方で、通信環境の改善やタブレット端末等の急速な普及などにより、ICTによるサービスを受容するための外的環境整備が進んでおり、県民の利用ニーズがますます高まると予想されます。

そこで、それらを踏まえ、県民の利便性の向上などに対する今後の方策について調査研究を行います。

生活保健福祉委員会 (8名)

○「男女が共に輝くとちぎづくり」

女性の社会進出を後押しし、地域活動における男女共同参画をさらに推進していくため、それらの理解促進策や相談支援の充実を図るなど、男女が共に輝く「とちぎ」づくりのための方策について調査研究を行います。

○「地域包括ケアシステムの構築」

超高齢社会を迎え、高齢者が地域の実情に応じて、自立した日常生活を営むことができる体制づくりが重要であることから、医療、介護、住まいなどが包括的に提

供される「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組の方向性等について調査研究を行います。




農林環境委員会 (8名)

○「森林・林業の発信力強化戦略」

魅力ある森林・林業の維持・発展のためには、積極的かつ効果的な情報発信及び関係者と情報のネットワーク化を戦略的に展開することが重要であることから、その方策について調査研究を行います。

○「園芸の生産振興」

国の農政改革や国際化の進展に対応し、本県農業がさらに発展するためには、本県の強みを活かした収益性の高い園芸生産のさらなる振興が重要であるこ

とから、その方策について調査研究を行います。






経済企業委員会 (8名)

○「ものづくり企業の支援～技術力の向上のために～」

本県は、県内総生産額に占める第二次産業の構成比が37.8% (H22年度) と全国で3番目に高い、全国有数のものづくり県ですが、今後ますます激しくなる地域間競争に勝ち残り、本県産業が発展するためには、ものづくり企業の技術力向上が極めて重要です。

このため、本県産業の礎とも言える「ものづくり企業」の支援について、国の施策の効果的

な活用を含め、具体的取組や今後の施策の展開について調査研究を行います。

県土整備委員会 (8名)

○「地域経済の力強い成長を支える県土整備」

今年度は、復興から力強い成長・発展へと踏み出す転機となることを期待されていますが、本県を成長軌道に乗せていくためには、社会資本整備が不可欠です。

そこで、産業や物流の効率化を高める広域的な道路網の整備、観光立県とちぎづくりや地域の活性化を支える社会資本整備、暮らしやすく持続可能な県土・都市づくり、円滑な公共事

業の執行について調査研究を行います。




文教警察委員会 (8名)



○「スポーツの振興を通じた人づくりの推進」

子どもの体力や運動能力が低下傾向にある中、健康で充実した生活を送るためには、広くスポーツを普及し、地域スポーツ活動の充実や運動部活動の活性化を図ることが重要であることから、その方策について調査研究を行います。

○「振り込め詐欺を撲滅するための取組」

極めて深刻な事態となっている振り込め詐欺を撲滅するため

には、県民及び社会の抵抗力を一層強化する必要があることから、その取組について調査研究を行います。

議会のうごき

◇正副議長選挙

第322回通常会議の最終日、三森文徳議長と小林幹夫副議長の辞任に伴う正副議長選挙が行われ、第101代議長に螺良昭人議員（とちぎ自民党、4期、宇都宮市・上三川町選挙区）、第108代副議長に花塚隆志議員（とちぎ自民党、3期、さくら市・塩谷郡選挙区）が選出されました。



つばらあきひと 螺良昭人 議長



はなづか たかし 花塚隆志 副議長

◇会派構成の変更

平成26年4月1日現在の会派構成は次のとおりです。

とちぎ自民党議員会	28人
みんなのクラブ	10人
民主党・無所属クラブ	4人
公明党栃木県議会議員会	3人
県民第一の会	2人
元気クラブ	1人
無所属の会	1人

傍聴、団体見学のご案内

○県議会本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができますので、ぜひお越しください。なお、本会議は先着順です。委員会は定員を超える場合、開会15分前に抽選となります。

詳しくは、県議会事務局総務課 (TEL 028-623-3754) まで、お問い合わせください。

○議会議事堂や県庁舎の団体案内を行っています。ご希望の方は、広報課県民プラザ室 (TEL 028-623-3757) までお問い合わせください。

県議会広報テレビ番組

○「県議会へようこそ」（とちぎテレビ）を通じて、県議会の情報などをお届けしています。

〈次回放送予定〉

- ・県議会ハイライト(再) 5月18日(日) 正午～0時30分
- ・正副議長に聞く 5月25日(日) 正午～0時30分

